

東京都

大田区

新産業と匠の技が
融合するイノベーション
モデル都市

人口 748,081人 面積 61.86 km²

都市の特長

高度な技術を持つ中小製造業が集積する国内有数のものづくりのまち。また、国内外のヒト・モノ・情報といった、様々な資源の交流の起点である羽田空港を有する。

大田区
OTA CITY

羽田から世界へ

近年の社会情勢・市場動向の変化や人手不足など、厳しい環境に置かれながらも町工場の集積が地域の産業を支え続けている。こうした中、羽田に集積する国内外のヒト・モノ・情報の交流を活性化させ、公民連携によりイノベーションを創出し、ものづくり産業の更なる発展を図る。また、将来の地域社会を担う人材を育成し、持続可能なおおたの未来を創る。

01 持続可能なおおたの未来を創る「HANEDA GLOBAL WINGS」

「HANEDA GLOBAL WINGS」を構成する第1ゾーンの羽田イノベーションシティ（略称：HICity）を区の課題解決に向けたスマートシティの取組における実証フィールドと位置づけ、モビリティやロボットなど、周辺施設との連携も含めて様々な技術の実証実験を行っている。

日本の最先端の技術が集まるHICity!



実証実験を重ねる自動運転バス



Column

HICity内のPiOPARKでは、様々な団体が交流するイベント等が実施されており、多様な人々の産業交流を育み、世界と直結したオープンイノベーション拠点を目指している。



02 大田区公民連携SDGsプラットフォーム

企業・団体・大学等の多様な主体が集い、地域課題の共有と解決に向けたアイデアや行動を議論するためのプラットフォーム。単なる公民連携だけでなく、参画企業同士の民と民の連携による新たなサービス創出も促進する。

地域課題の解決に関心のある企業が参加



03 教科「おおたの未来づくり」の新設を通じた人材育成

地域の企業や団体と連携し、「子ども達の創造的な資質・能力」を育むための授業を実施。2025年4月には、区独自の新教科「おおたの未来づくり」を区立小学校に導入し、次代の区内産業やイノベーション、ひいては区の様々な課題解決を牽引する人材を育てていく。

新教科導入に向けて様々な授業を実践！（企業の商品開発の方法を知る）



各取組の詳細はこちら

取組 01 ▶



取組 02 ▶



取組 03 ▶



コラム PiOPARK ▶



インタビュー

Interview

01 2030年のあるべき姿の実現に向けて



大田区 企画経営部 企画課
企画調整担当課長
野村 朋宏 さん

2030年のあるべき姿として掲げた「新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市」の実現に向け、区民、企業、関係団体等の皆様と一体となり「オールおおた」でSDGsを推進します。また、SDGs未来都市計画を着実に推進するとともに、SDGs全17ゴール達成に向け、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを進めて参ります。

HICityには、羽田空港が見える足湯があります



02 公民・民民連携によるSDGsの推進



キャノンマーケティングジャパン株式会社
自治体ソリューション推進課
課長 池田 知明 さん

当社は、大田区公民連携SDGsプラットフォームへの参画や包括連携協定の締結により、大田区と連携しSDGsを区内で推進しています。その一環として、「おおたの未来づくり」ではリサイクルに関する授業を実施し、子供のSTEAM教育推進・人材育成を進めています。将来的には、プラットフォーム連携企業との共創や、大田区をフィールドとした新たなサービスの創出により、大田区民のQOL向上に貢献していきます。

今後の展望

「HANEDA GLOBAL WINGS」を起点としたイノベーションの創出や最先端技術・次世代エネルギーの活用、次代を担う人材育成等の取組を、公民連携手法を積極的に活用し進めることで、より大きな成果を上げていく。また、将来にわたって産業成長や区民のQOL向上が続く、持続可能なまちに向けた取組を推進していく。



- 1 桜と池上本門寺
- 2 様々なアクティビティを楽しめる多摩川
- 3 紅葉の洗足池公園
- 4 有名な住宅地がある田園調布駅
- 5 日本一の利用者を誇る羽田空港
- 6 大森ふるさとの浜辺公園